

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	観光施設維持管理費			
担当課係名	観光課	課	観光施設係	作成者 伊藤誠孝
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち		総合計画のページ 29
	基本計画	観光誘客の整備と観光資源の掘り起こし		
	主要施策	観光客受け入れ体制の整備、自然生活環境の美化・保全		
予算費目	一般	会計	7款 商工費	1項 商工費 3目 観光費
事業期間	平成	年度	～ 平成	年度 新規/継続の区分 継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	-			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託(全部)	<input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光客が快適に利用できるよう公衆トイレ等の観光施設維持管理を行う。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	公衆トイレ等の観光施設の整備および清掃を行い、利用者の利便を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、すべての施設を清潔かつその機能を正常に保持し、利用者の快適かつ安全な利用を図るよう適正な維持管理を行う。

【事務事業の推移】

	項 目		単位	23年度実績		
	効果	活動指標	公衆トイレ数	目標	箇所	15
実績				箇所	15	
達成度				%	100.0%	
成果指標		観光客数	目標	人	4,000,000	
			実績	人	3,871,095	
			達成度	%	96.8%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			15,010		
	人 件 費 (B)		—	85		
	職 員 数		—	0.01		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	15,095		
	財源内訳	国庫支出金			0	
		県支出金			0	
		地方債			0	
		その他			6,915	
		一般財源			8,180	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	1,006,333		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	507		

【事務事業の今までの成果】

安全かつ快適に利用できるよう公衆トイレ等の観光施設の清掃及び維持管理を実施してきました。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	-
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	公衆トイレ等の観光施設の印象がそのまま観光地としての印象度となるため、行き届いた清掃や維持管理を行ってほしい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	公衆トイレ等の観光施設の清掃業務委託等により毎日清掃を行っている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	秋田県内有数の観光地として、観光施設の維持は必要な事業であると考えます。今後は衛生施設の充実や、指定管理による管理体制の検討も視野にいれながら継続実施と考えます。

一次評価診断図

